

第4回くらす部会会議録

日 時	2013年11月14日(木) 13:30~15:00
場 所	地域連携交流施設2階 会議室
出席者	西野、橋本、原、魚谷、藤尾、村田、橋本、中野、濱口、前田、政本、長倉、山口、吉水
テーマ	1、本日参加メンバー 2、報告 3、その他のお知らせ 4、次回開催日の調整
内容	<p>1、参加メンバー：14名</p> <p>2、報告</p> <p>○第2回「お泊り会」報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月18日(金)～19日(土)に男性3名の参加により実施 ・デイサービス職員からは、「参加者は皆さん落ち着いて過ごされた」「いつも通りに、朝散歩に行かれたり、ボール蹴りをされるのに、職員が対応した」「趣味の時間を過ごされたり、参加者同士で、話す場面も見られた」と報告を受けた ・初めての方の参加の場合、温度管理が一番大変だった ・実施時期は、今年度の時期が対応し易いと思う ・アンケート内容では、 <ul style="list-style-type: none"> ①家族からの好意的な意見が出ている ②親と子の意見のずれ(子供は参加したいが、親が心配で止めてしまうこと)がある事を心配している意見もある ③今後、ショートステイを利用したいという意見もある <p><11月1日開催の「くらすチーム」からの提案></p> <ul style="list-style-type: none"> ①参加者の募集を18歳以上として開催したが、今後は高校生以上と変更してはどうか ②見学会等で、これまで行った「お泊り会」の様子や意見について報告の場を持ってはどうか(写真掲載については事前に承諾を得ておく) ③播磨町社会福祉協議会だより「ゆう&あい」への掲載 ④播磨町役場広報への掲載 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>反対意見は無し</p> <ul style="list-style-type: none"> ③については、原稿があれば可能 ④については、2ヶ月前の原稿締め切り <p><意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの設立準備会について、具体的な手立てについて説明していただける講師を、紹介して欲しい ・将来の生活の方向が決まっている人は、グループホーム設立準備会に参加するのは難しいと思う ・これから将来について考える中高生の保護者の方が、関心が高いのではないか

- ・対象を広げていく方が、良いのではないか
- ・昨日の就労の研修会では、島根の9万人の人口に対して、100人の障害者がグループホームや入所施設で暮らしているという報告を聞いたが、「はたらくこと」と「くらすこと」の両方を考えなくてはいけないと感じる
- ・講演会で、いろいろな形のグループホームができていると聞いた（例えば、母体である施設からフォローを受けて、母体施設近くに個室を持つ）
- ・夜間の体制も、世話人さんが常駐するグループホームがあったり、数件のグループホームを巡回して管理する所もある
- ・東加古川病院のグループホームは4か所（県営住宅の利用もしている）あり、世話人さんが夕方見て回り（月～土）、日曜日は来ないが、連絡はすぐに繋がるようにしている
- ・グループホーム利用者が、発熱等で日中見守りが必要な場合も、世話人さんが対応している場合が多い
- ・65歳以上の高齢となった障害者でも、グループホームで対応できる方もいる
- ・グループホームや介護施設では看護は出来ないので、疾患のある65歳以上の障害者は入所施設が終の棲家にはならず、病院で過ごす事もある
- ・グループホームの先を考えなければいけないように思う
- ・若い保護者にとっては、将来への道すじを知るための勉強会や、情報提供が大切

<「お泊り会」の展望について>

- ・播磨町デイサービスで、緊急一時支援に結び付けていく予定はあるのか
→必要性は認識している
 デイサービスの業務は、日中一時支援の場として役場から委託されている施設なので、夜間の職員の確保が課題である
 要綱により「身体障害者の短期入所」となっており、専門職のサービス提供対象が「知的障害者」に対するサービスとなっていない
 施設の整備・人の配置・職員研修等必要なので、「知的障害者の短期入所」についての今後の受け入れについては即答できない
- ・将来的に社会福祉協議会での短期入所や、緊急一時支援に結びつくものでないと、いけないのではないか
- ・「お泊り会」を続けることで、広く啓発になっているのではないか
- ・「自分たちで出来ること」をしていき、たくさんの人に知ってもらおう
- ・相談支援を受けていると、確実にニーズはある
- ・資金、人、要望の声を集めて動く人がいないと、形にならないと思う
- ・そのための働きかけを、ここ（地域自立支援協議会）ですていく事になるのではないか
- ・この部会から、推進会議や社会福祉協議会に提案していく方向で進めたい
- ・まず、緊急一時施設の方が優先順位が高いのではないか
- ・障害者もいずれは高齢となるので、障害福祉と高齢者福祉が連携することが大切
- ・社会福祉協議会としても理解はしているが、具現化するのに時間がかかる
- ・役場に、事業者からグループホームの建設について問い合わせがあったこともあるが、進展していない

○防災デイキャンプ反省会について

- ・10月24日に反省会実施
- ・9月1日は、事前に打ち合わせがあったので、スムーズに運んだが、実際には難しい事が多いのではないかという意見があった
- ・本来は避難所自治を立ち上げなくてはならないなど、もう一步進んでいかなければならない
- ・来年度からは、実施を決めて早くから実行委員会を立ち上げ、よりよいものにしていく方向である
- ・10月31日には、防災避難マニュアル策定委員会に会長代理が出席
蓮池小学校区における防災避難マニュアルを作る
グループワークで検討してみると、いろいろな事が想定された
次回は11月27日に予定されている
- ・災害発生時間により対応が変わることや、スタッフの確保の難しさが話に出た

3. その他のお知らせ

○そだつ部会：「かけはし書き方教室」

平成25年12月4日（水） 10：00～11：30 地域連携交流施設

○はたらく部会：・第2回「はたらくみんなのお茶会」

平成25年12月15日（日） 10：00～11：30 地域連携交流施設

参加申し込みは、現在9名（新規2名）

・就労継続A型事業所見学会 報告

加古川市の（株）Green Leaf と、高砂市の（株）ハピネス 四つ葉のクローバーの2か所を参加者9名で、10月29日（火）に訪問した

加古川市の（株）Green Leaf では、自転車やパチンコ台の解体や手作り雑貨の製作・販売を、精神障害者・身体障害者・知的障害者18名（定員は20名）で作業していた

高砂市の（株）ハピネス 四つ葉のクローバーでは、ゴム製品のバリ取りや日記帳の製販を、車いすに乗る身体障害者も含め16名で、作業していた

両事業所共に、就労継続支援A型事業所という事で、雇用の形態をとり給料（5～6万円位）も出ている

○くらす部会

- ・支援者会議：平成25年11月27日（水）9：30～

播磨町地域連携交流施設にて開催予定

○「平成25年度障害者就労支援研修会」

第1回：平成25年11月13日（水）10：00～16：00

第2回：平成25年12月10日（火）10：00～16：00

場所：加古川市立知的障害者総合支援センター「はぐるま」

○バリアフリー講演会（別紙）

○権利擁護講演会（別紙）

4. 次回開催日の調整

H26年1月15日（水）13：30～15：30 地域連携交流施設